



今月の援農状況

- 稲作農家から 田植えに備えて田んぼの整備作業の依頼がありました。
「とても疲れるが 土と水の感触が なんと心地よい」(参加者)
- 露地栽培トマトの定植応援が今月もあり大勢の方に参加いただきました。
「腰の痛さを忘れさせてくれるほどの トマト苗の独特の香り」(参加者)
- その他 野菜出荷作業を含め 昨年以上の応援依頼をいただいています。

援農体験記

“援農の後には美味しいご飯” 子安町 木下 一

三月に入会し、皆さんから「援農も楽しいですよ」とお声をかけられて川町の尾崎さんの竹林からの竹の搬出作業のお手伝いに行ったのを皮切りに、小比企の鈴木さんのお手伝いもさせていただきました。昨年の六月に退職してダラけた生活を送っていた身には、太ももなどの筋肉が痛み、日頃の運動不足を大いに反省させられましたが、三時間ほどではありますが汗を流して帰宅後、シャワーを浴びてから食べる食事の美味しさは格別な体験でした。

縁あって農業で地域興しを目指す他のNPOのお手伝いをするのが急に決まったため、平日の援農が出来なくなったのが残念ですが、休日の梅ノ木畑での作業を調整してでも機会を見つけてまた参加したいと思っています。

食用桑の紹介

八王子はその昔 「桑都」と呼ばれていた時代がありましたが その言葉が再びよみがえってきそうな 動きがあります。「食用桑の栽培」です。すずしろ22も桑苗の定植 桑葉の収穫で 応援させていただいています。



- ・特徴 濃緑色で甘味・旨味あり、葉緑素・ミネラルが126種
- ・栽培規模 八王子市内9軒の農家さんで合計1万本
- ・収穫期 4・7・8・9月 — ご協力をお願いします。

チョットと耳にした情報・アドバイス

- (1) ヤーコンの保存
「南米からの健康特使」の異名も持つ南米原産の根菜。収穫後 比較的早く傷むことへの対策として 冬季も畑にそのままとして様子を見たとところ元気。意外に寒さに強い。
- (2) 里芋の親株を 定植
「里芋定植で親株も植えたところ 正規の種いもより 立派な物が収穫できた」との実績を踏まえてこれを再実証するため今年もトライ。収穫実績を後日の報告へ。
- (3) ジャガ芋の芽かき
じゃが芋の生育風景が身近に見うけられます。「大きな芋を収穫するには芽かきは絶対条件と聞くが 北海道のあの広い農場で実施されているとは信じられない」。真偽は如何。

富所農園・イベント 便り

管理窓 酒井敏夫



作業小屋前でのある日の打合せ風景

「一日二回 朝夕農園に来ています」(K氏)

すずしろ22が運営する農園として21全区画借り手が決まり初めての共同草取りを5月9日(第2月曜日)午前行いました。声掛けした半数の6名が来てくれ、レジ袋(中)を1枚ずつ配り、各自一杯にすれば運んでお終りとなりましたら、1時間位で楽しく終了しました。堆肥場外回りは草刈機でやってくれる方が居り、また水汲み場までの道端は、地主さんが自主的にやってくれスッキリしました。次回は28日(第4土曜日)予定しております。情報交換が楽しみです。

事務局からのお知らせ

人材—農家需要 と市民意欲のマッチング



- (1) 梅雨入り宣言
5/27 早くも梅雨入り宣言がありました。農作業応援にはチョットとつらい面もありますが 「恵みの雨の季節」とも。 「もの芽を 勢い立たせて 雨あがる」(朝日)
- (2) 学生さんからの取材活動
「アラフォー」— 40歳前後の年代を表現する語とか。今回 70歳—「アラセブンティ」を対象とした取材活動を受けました。誌名は 「セブンティーン」を意識して「セブンティ」とか。
- (3) しの竹伐採 は 一石二鳥
農地の脇に繁茂した[しの竹]を伐採し 環境整備に汗を流していただいたのは 今年2月のこと。入手したその[しの竹]は 夏野菜の支柱として活躍してくれています。

<発行 会報紙編集会>

合津 highz_85@cosmos.ocn.ne.jp 飛田 emiko_tobita@ybb.ne.jp 川口 leaf-river-86@nifty.com